

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（8月）の予測

発表日：2009年10月2日（金）

～C I一致指数は5ヶ月連続、C I先行指数は6ヶ月連続で上昇の見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

10月7日に公表される09年8月の景気動向指数では、C I一致指数は前月差+1.6ポイントと、5ヶ月連続の上昇が予想される。在庫調整の進展や輸出の増加等を背景としてC I一致指数は09年3月をボトムに上昇しており、景気が回復基調にあることが示されている。また、C I先行指数も前月差+0.9ポイントと、6ヶ月連続の上昇を予想する。

内閣府によるC I一致指数の基調判断は、7月と変わらず「下げ止まり」が維持されると予想しているが、若干微妙なところもある。内閣府が設定している基調判断は、「悪化」→「下げ止まり」→「局面変化」→「改善」の順番で上方修正されていくが、「下げ止まり」から「局面変化」へ上方修正されるための「7ヶ月後方移動平均の符号が変化し、1ヶ月、2ヶ月、または3ヶ月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合」という基準を満たすには、8月分で前月差+1.8ポイントが必要になる。仮に当社の予測値である+1.6ポイントにとどまった場合には僅かに届かず現状維持となるが、多少上振れば基準を満たすことになる。

なお、上方修正の基準を満たさなかった場合には原則として現状維持となる決まりだが、内閣府では基調判断の例外として、「ただし、特記すべき事項があれば付記する」としているため、この但し書き部分を適用して上方修正される可能性も否定できないことには注意が必要である。ちなみに09年4月分では、本来の基準では現状維持のはずだったが、この「特記すべき事項」に該当するとして上方修正が行われた。

